

## 「令和6年度 東京都データ連携・活用促進プロジェクト」 実施事業者を決定しました

東京都では、デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出す「スマート東京」の実現に向け、都市OS※の構築など都市のスマート化に取り組んでおり、令和5年度から「東京都データ連携・活用促進プロジェクト」を実施しています。

この度、都と連携してプロジェクトの実施に取り組む事業者を以下のとおり選定しましたのでお知らせします。

※ 都市OSとは、地域が共通で使用する機能を集約し、様々な分野のサービス導入を容易に実現するITシステムの総称。

### 1 事業者及び事業概要（詳細は別紙を参照）

| 事業者         | 地区名        | 事業概要                                                                                                    |
|-------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 豊島区         | 豊島区        | 地域住民のコミュニティや地域特性などウェルビーイングに関するデータを収集・分析し、区民ひろばの運用改善やまちづくりに取り組み、エリアの特徴を活かした地域コミュニティの活性化を図る。              |
| 町田市         | 町田市        | 統計情報や3D地図情報等市に関連する官民のデータを集約・公開するとともに、生成AIを活用し、誰もがデータを有効活用できる都市OSプラットフォームを提供することで、効果的な政策立案や新たなサービス創出を図る。 |
| 日鉄興和不動産株式会社 | 赤坂・虎ノ門緑道周辺 | 空間情報・人流データ・環境データを活用し、自然環境や生物多様性を活かしたまちづくりを推進することで、自然環境と共存する持続可能な都市を実現する。                                |

### 2 今後の予定

事業者と東京都の間で2か年の実施協定を締結し、連携して取組を進めていきます。

事業計画

地域住民のウェルビーイングや地域の魅力などの特徴データを利活用した豊島区民の交流の場である区民ひろばの価値向上を目指します

収集データ

エリアOS/PF

施設の価値向上

ウェルビーイング

地域の魅力

地域の特徴

利用者情報

豊島区データプラットフォーム

エリア見える化システム

入館システム

事業内容

地域の課題

地域コミュニティの拠点である区民ひろばの課題は以下

中間層の利用促進

子供の居場所の創出

リアルとバーチャルでの交流の促進

DX推進による業務負担軽減

自主運営の見直し

本事業での実施内容

「区民ひろばを中心としたエリア」を対象エリアとしてデータ収集・分析を実施

地域特徴やニーズに基づく施設運営や地域のまちづくりに取り組む

地域特徴データの収集

データプラットフォーム等の開発

地域特徴データに関する豊島区データプラットフォームの開発

データ活用

地域特徴データの見える化のためのダッシュボードの開発

アンケート調査

施設利用者周辺住民

区民ひろば

入館システムの開発

地域特徴を踏まえた施設運営の検証

本手法の発展性・水平展開の検討

地域のウェルビーイング向上に資するデータ取得や施設内外のコミュニティ創出を促す施策実証を実行

解決に寄与する多方面のデータ取得・分析により、ひろばにおけるインサイトやユースケースを発掘

公園などの公共施設運営や民間事業者によるエリマネ活動への適用可能性の検討

同様課題を抱える他の区市との情報交換による改善策検討と水平展開の検討

期待する効果

地域の特性を踏まえた区民ひろばの運営改善による都民のQOL向上

利用者の多様性の拡大

地域ニーズを踏まえた公共施設運営

民間事業者による施設活用の拡大

運営改善による財政課題の解決

他施設・他自治体の課題解決への寄与

実施体制

豊島区

豊島区役所

事業全体管理

NEC

立教大学 コミュニティ福祉学部

コミュニティ政策学科 准教授 権 安理

公共施設活用検討アドバイザー

エスノグラフィー調査

マーブルデザイン株式会社(予定)

入館システム構築

日本電気株式会社

データ分析・収集

見える化システム構築等

スケジュール

2024年11月頃

既存データ分析

データPF/DB要件定義・設計

入館システム要件定義・設計

2024年12月頃

ウェルビーイングエスノグラフィー調査

開発

入館システム開発

2025年4月頃

データ分析・検証施設の在り方検討

一部運用開始

入館システム導入テスト

2025年9月頃

施設利用改善に関する実証

区内・他区市・地域企業ヒアリング/WG

本格運用

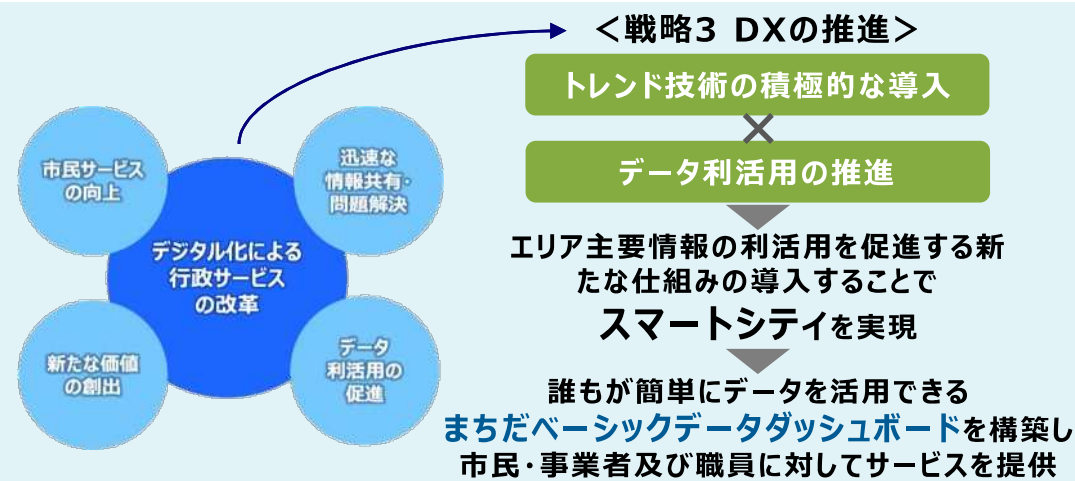
入館システム運用

# 【町田市】生成AIを活用したベーシックデータ”見える化＋分析”プロジェクト

別紙

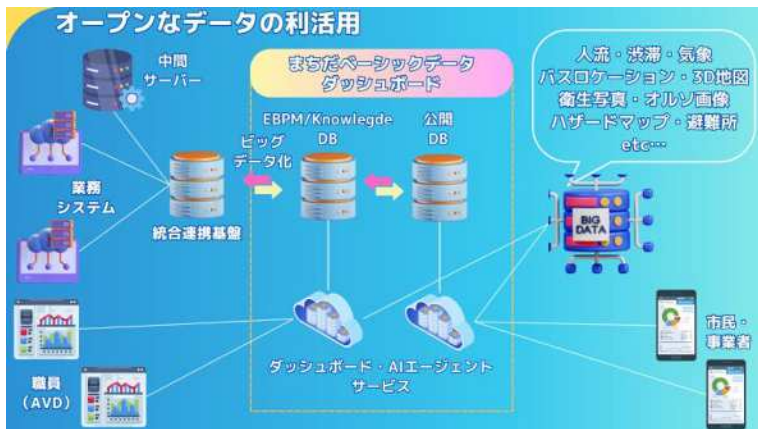
## 事業計画

町田市の課題や市民や職員のニーズを踏まえた「みんなの“なりたい”がかなうまち」という目指す姿に対し、デジタル化による行政サービスの改革というテーマを設定し、本テーマに基づいた施策を実施することで、エリアの課題解決を実現します。



## 事業内容

### 「まちだベーシックデータダッシュボード」イメージ



### 目指す目標像

生成AI を利用することで、複数のデータを掛け合わせた分析や非構造化データの活用が 誰でも簡単に 実施可能

- ◆ エリア内のデータを一元的に管理でき、分析結果に基づく効果的な政策の立案が可能となります
- ◆ 市民や事業者に対して効率的にデータを開示することで、行政サービスの満足度向上及び新たな市民サービス（ビジネス）の創出に繋がる土壌を創出します

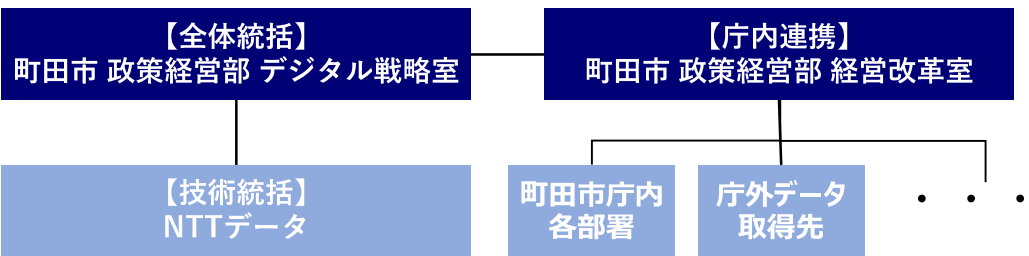
市民・事業者向け

市民や事業者が必要なタイミングで的確な情報を閲覧できる環境が整備され、データの利活用が可能な状態を目指します

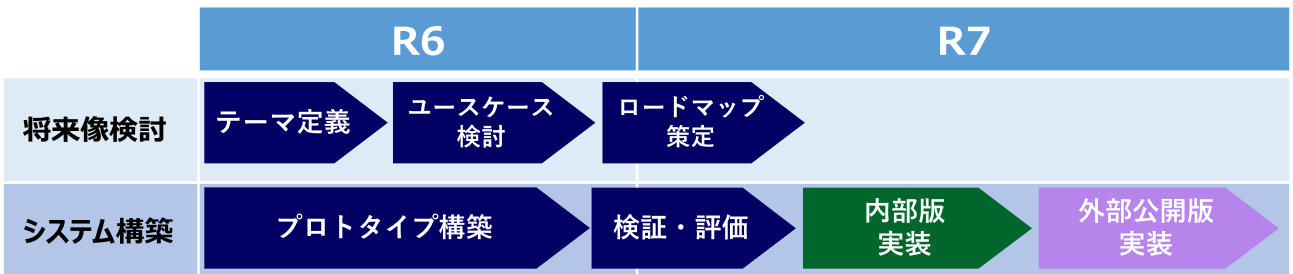
職員向け

各種データの分析によってエリア内の課題や傾向を的確に把握し、市民へのサービス向上に繋がる効果的な政策が実施できる状態を目指します

## 実施体制



## スケジュール



事業計画

目指す姿:自然環境と共存する持続可能なスマートシティの実現

自然環境や生物多様性を生かした都市づくりを推進し、エリアワーカーの生活の質と幸福度の向上を目指す

実施方針

賑わい(滞在性×快適性)

既存のアセットを活かした  
アクティビティの創出

ポテンシャル:文化・歴史的要素  
課題:定常的な賑わい  
多様な生活様式への対応

生物多様性

公共空間における  
緑化・生物多様性の促進

ポテンシャル:豊かな自然環境  
課題:地域固有の生物資源

市民参加

市民参加型まちづくりの推進

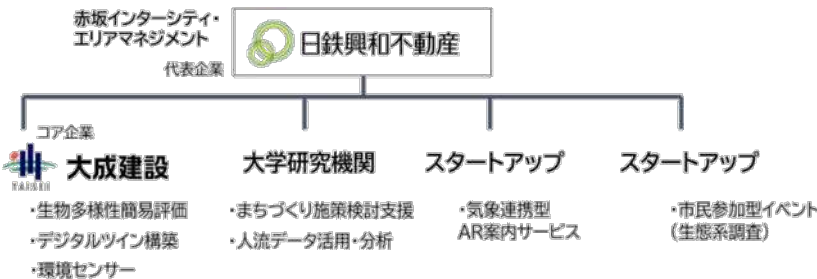
ポテンシャル:文化・歴史的要素  
課題:多様な生活様式への対応  
多様な人々の交流機会が不足

具体的な取組み(抜粋):

- ① 滞在性・快適性の見える化(気象連動型AR案内、ディスプレイでの情報発信など)
- ② エリアマネジメント活動の推進(剪定枝の配布、ガーデンツアー、菜園の管理)
- ③ 生物多様性に係る評価・シミュレーションの推進
- ④ 参加型アプリによる市民参加と生物多様性データの取得

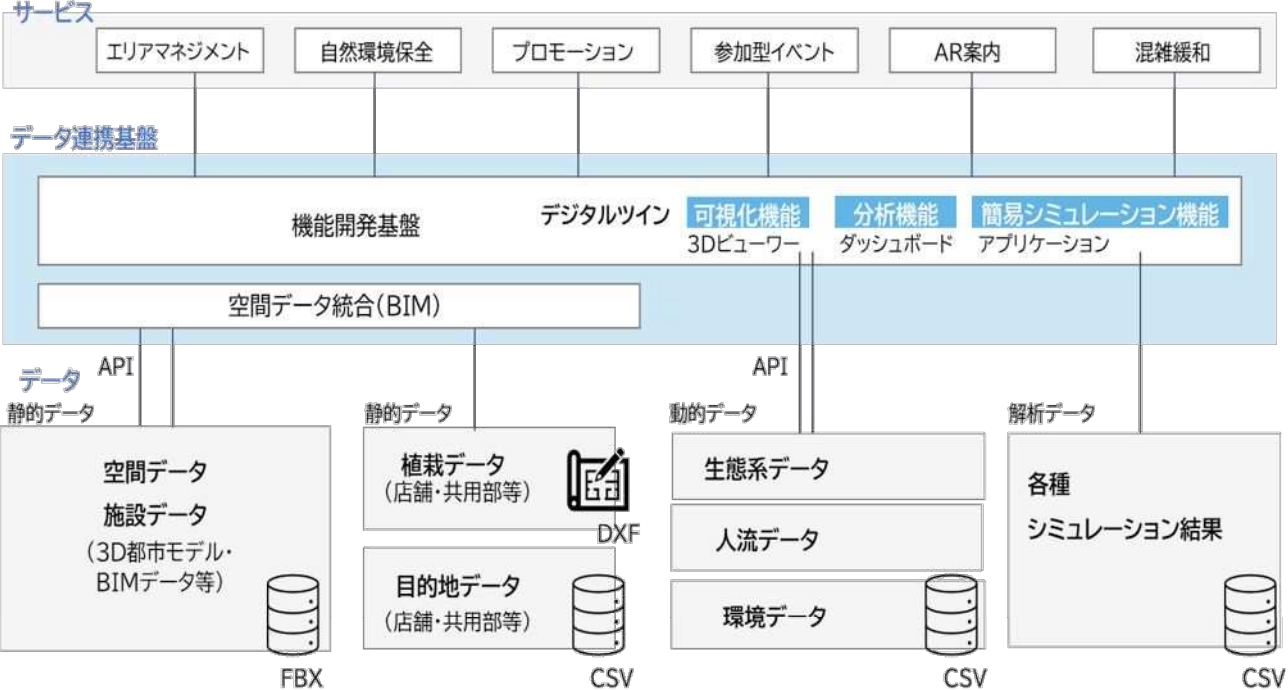
実施体制

代表企業のもと  
産官学が連携して  
推進します



事業内容

データ連携基盤に、エリアの空間情報、動的データ、解析データを繋ぎ合わせ、様々な機能を付加することで、サービス提供/まちづくり活動の基盤とすることを目指します



スケジュール

【マイルストーン】

- ・2024 3Q:各種データ取得開始
- ・2024 4Q:サービス・イベント等の提供
- ・2025 1.2Q:プロジェクト範囲拡大
- ・2025 ~4Q:サービス提供・基盤整備

|               | 2024               |       |      | 2025            |             |        |    | 2026~             |
|---------------|--------------------|-------|------|-----------------|-------------|--------|----|-------------------|
|               | 2Q                 | 3Q    | 4Q   | 1Q              | 2Q          | 3Q     | 4Q |                   |
| 対象エリア         | 赤坂インターシティ AIR街区・緑道 |       |      | 周辺街区への拡大        |             |        |    | 虎ノ門エリアなど周辺エリアへの展開 |
| 1. 賑わい        |                    | データ取得 | サービス |                 | データ取得(範囲拡大) | サービス提供 |    | 周辺街区と連携した賑わい創出    |
| 2. 生物多様性      |                    |       | 評価   |                 | 環境整備(鳥啄木など) |        |    |                   |
| 3. 市民参加       |                    |       |      |                 | 参加型イベント     |        |    |                   |
| 4. 共通基盤・データ整備 |                    | モデル構築 |      | データ基盤・デジタルツイン構築 |             |        |    |                   |